

第六次土岐市総合計画の中間見直しに関する意見聴取への回答について

	提出された意見	回 答
1	<p>1. 基本方針(スローガン)が「人と自然と土が織りなす交流文化都市」とあり、この計画において、土すなわち美濃焼産業、美濃焼歴史が重要課題と思いきや、個別の基本目標においてはわずかにしか触れられていません。そのことが言葉の美しさと具体的内容との乖離を生み、わかりにくくなっていると思います。美濃焼産業の支援策についてはいろいろ検討されていると思いますが、現場と話し合い、さらにほりさげ、課題を整理し、実行していただきたいと思ひます。また産業活性化に貢献したかたの表彰制度も検討していただきたい。児童生徒の陶器制作、すぐれた陶器の鑑賞なども9年間のうちに少なくとも一度は経験することが望ましいと思ひます。</p> <p>2. コロナの流行により、人々の意識、価値観、生活様式が変わり、さらに経済状況が決定的に変化しました。失業、廃業、生活保護の増加、ひいては税収のおちこみ等が避けられません。また近年の大雨、台風災害の被害の増加、起こりうるとされている南海トラフ地震の問題もあります。これら災害が発生した際は深刻な事態になることが予想され、災害に強いまちづくりも本格的に考えていただきたいです。財政出動が必要になる事態もあるかと思われ、災害基金としての積み立ても必要と思ひます。</p> <p>3. 土地利用構想において中心交流拠点とされた土岐市駅周辺について駅前広場は使いにくく、送迎が駅西駐車場で行われているのを目にします。またバス駐車場やタクシー待機所を広くしたのは、将来公共交通の発達を見越してからと聞いたことがありますが、ひろびろとした広場は閑散ともいえ、人々の集まり集う場所ではなくなりました。駅利用の老人は電車に乗るまで座ることもできません。駅前は、「商業、サービス、居住等の都市機能を集約させ、市民や来訪者が集い、交流できる本市の玄関口として再生を図ります」とあります。実現してください。</p> <p>4. 地域医療については、崩壊の危機に面しています。現場の人間の意見を聞いてほしかった。救急も、専門医療も、今後回復する可能性を否定しませんが、現時点では崩壊に近いです。今後JAに委託しましたというだけでなく、土岐市としてのビジョンを示していただきたい。</p> <p>5. ふるさと納税は早く実現させてください。税収をふやすだけでなく、やりかたにもよりますが、美濃焼、土岐市の宣伝にもなり、新しい産業の掘り起こしにもなります。他市は頑張っています。</p> <p>6. これまでの取組の一覧を拝見しました。国、県の政策の一環として行われている取組と、主として土岐市オリジナルの取組の違いがわかる表記だと良いと思ひました。</p> <p>7. この総合計画に基づいてまちづくりをして4年もたっているのに住民周知が不十分と思ひます。広報も月1回になりましたが、広報配布の際にリーフレットを入れ、このような基本目標についてこのような取組をしているということを少しずつ紹介していったらどうでしょう。</p>	<p>ご提案や意見に対し、施策としての対応の可否等に関する回答は審議会としていたしかねるものでございます。</p> <p>ただし、提出された意見1. 現場との連携、3. 駅前周辺の活性化、7. 住民に対する周知不足に関しては審議会委員からも指摘があります。</p> <p>基本構想をもとに実施する施策において、社会情勢や市民ニーズに即応し適切な事業にて対応できるよう、実施計画の立案や見直しを行っていくことを審議会としても求めます。</p> <p>いただいたご意見については、答申の際に貴重な意見として付していくこととします。</p>